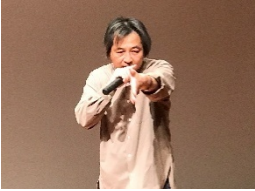


WAC西みゆきの郷 住宅型有料老人ホーム 定番化した子ども食堂！地域のみなさまこれからも宜しくお願いします！！  子ども食堂、今月も25名の方にお越しいただき、大きく盛り上がりました🍀6月は習字の先生がいっぱいいます🍀  テーブルを囲んで楽しいおやつタイムしてます！！ 施設に差し入れがあり、入居みなさんと1つのテーブルを囲んで、お茶の時間を楽しみました！雑談をしてみなさんの仲も深まったご様子です😊	トピックスⅠ Sharken サンからお手紙を頂きました！  とよはし音楽祭ありがとうございました。 とよはし音楽祭で出会ったお客様や出演者やゲスト、音楽祭を準備される方々など多くの方々と、お話をさせて頂き、心地よい体験、気持ちを受け取らせて頂きました。そして何よりも「生きている」存在を、しっかりと感じとらせて頂いています。ありがとうございます。 この音楽祭が、私の友人らにも、良い刺激、喜びを与えていることも嬉しい限りです。他の方々にも、もっともっと知っていただきたい、素晴らしいコンテンツだと感じています。来年も、とよはし音楽祭が開催される事を願って、参加させていただけると嬉しい限りです。 第15回とよはし音楽祭音楽祭でグランプリのSharkenサンからお礼のお手紙を頂きました。スタッフ一同今後の励みに行きたいと思います！
トピックスⅡ のりみち展 開催しました！   5月31日まで、のりみち展を開催しました。第6回トヨハシブリュットアートコンテストの銀賞にも輝いた三重県出身のアーティストです。個性的な作品で、多くの方が来場し鑑賞され、にぎわいました。	トピックスⅢ オープン間近の瓦ビル準備中です！   夏オープン予定の瓦ビルの環境整備をしています。農園メンバー3名の協力と職員2名でまずは建物回りの木や草を刈っています。オープン後は、アートスペース、コワーキングスペース、バリナビTVのスタジオ等に使われます！！
トピックスⅣ ほっと一息人生コラム 西野友章の読書評 vol. 37 ゲーテ「若きウェルテルの悩み」を読んで 読み終わり、本を置き、目を閉じる。心にしっくりしない疑問が浮かぶ。なぜウェルテルは、自殺を決意したのだろうか。人を愛することと死がどうして結びつくのだろうか。今から約250年前に書かれたこの小説、ゲーテ自身の失恋と友人の自殺を結びあわせて、自伝的に反映したものらしい。この結末はグッと読み手を引き込む。だけど、「なぜ、ウェルテルはこの世を去ろうと決意したのか」やはりそこが気になった。極限まで自己を追い込んでいくことに、僕は不自然さを感じた。この物語を少し遠目に見ると、死がとても身近に描かれている。生きている世界は狭く、人間関係が濃厚で、言葉に人生を変えるほどの強い影響力を持たせている。その中で、恋は特別な性質を帯びるものだったと、想像してみた。もういいか、この物語、十分に楽しめた。「人を好きになると人生が豊かになる」と思える社会であってほしい。	5月活動報告 こんなことしました！ ～5月7日（水）第14回アウトサイダーアート豊橋 TOYOHASHI BRUT まちなかギャラリー 1日（木）月例職員研修＆会議 2日 9日 18日 23日 30日（金）有機朝市8:30～(アツミ山田店) 9日（金）20日（火）30日（金）もったいない回収日 9日（金）W. P. B. 打楽器練習 13日（火）陶芸教室 13:30～（みんなの居笑） 14日 28日（水）絵画教室（みんなの居笑） 17日（土）第11回豊橋・東三河まちづくりデザイン会議 28日（水）第152回WAC見学ツアー（WACビル＆施設） 30日（水）「ゴミ〇の日」全員環境整備8:00～瓦町周辺   
ご寄付をくださった方々 2025年3月～4月 渡辺裕世様（東新町）、中村敏子様（牟呂神町）、平田春男様（飯村北）、加藤貞子様（東新町）、松本浩様（北岩田）、山本里由子様（東雲町）、藤田和子様（東雲町）、原崎浩子様（前畑町）、近藤秋子様（下条西町）、高橋克英様（中岩田）、大塩直美様（柱三番町）、伊藤嘉晃様（岩崎町）   たくさんの方のみなさまからのご寄付ありがとうございます。	編集後記 朝の陽ざしが今日は目に痛い……輝く季節、夏を目の前に梅雨でもない落ち着いた毎日が続くこの頃、私どもも昨年に引き続きサマータイムを6月1日から1か月延長して9月末まで行う。 選択と集中。今年の2大イベントが終り、今年も次の目標に向かう時期が来ている。振り返ってみると、ずいぶん仕事の窓口が拡がり、ほころびが見えだしてきている。このあたりで、考え方を整理して、前に進むことが必要に思う。昨年1年間は、この地域の居住支援協議会設立に向けて尽力したが、行政に私どもの声が届くことはなかった。豊橋市は愛知県と協同して進めるとの結論を得た。誠に残念であるがしかたがない。 2007年から自然栽培による農業を続けてきた。紆余曲折の末に現在があるが、最近、渥美フーズの渡会社長のオアシスファームを見学させて頂く機会があり、3年間でここまでやり遂げた循環型自然栽培にまさに感動であった。そこには、未来があった。もやもやした気持ちが消えた。選択と集中で、WAC農園を再起動させていきたい。私を含むスタッフ、メンバーそして、地域ボランティア みんなでたすけあい明日の地域社会を創っていく。 🍀 2025. 5. 26 加藤政実



草たちとの闘いが始まっています。桑木の成長も楽しみ！！急に若葉が増えてきています！桑の葉茶づくりもまちかになりました。



まちづくりデザイン会議でおもてなし！すばやい行動と丁寧なサービス。満点でした！

ファサードは紫陽花が梅雨を知らせます。雨降りも楽しく行こう！

ひとりひとりが主役の鯉のぼりづくり！！カラフルな鯉のぼりがおもいおもいに公園で飛翔です！

奇抜・ヘンテコ・カラフルなだけじゃない！表現力や内実が感じ取れる作品も観られた今回。『第14回アウトサイダーアート2025豊橋展』。

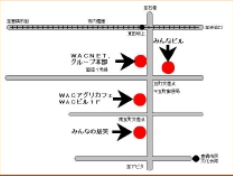
WACNET.
LETTER MONTHLY
2025年6月号 VOL.83

基本理念 地域のしあわせカンパニーをめざす

「みんなのしあわせ」

1. メンバー、スタッフ、その家族みんなのしあわせを実現する。
2. 障がいがあっても、なくても、高齢者、子どもたち、病気の方、生活困難な方、すべての人の地域社会での場をつくり、ささえあい、自立を進める。自立支援の場、ささえあいの場をつくる。
3. 地域社会の生活課題・社会課題・問題を発見し解決する。
4. 地域社会をしあわせにし、活性化させる。

特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター
事業部 豊橋市南瓦町14-1WACビル
TEL 0532-52-4315
本部 豊橋市瓦町通1丁目19-1
TEL 0532-55-6500



このWACNET LETTERは障がい者が主役。毎月障がいスタッフがデザイン・編集に携わり制作しています。

スローガン ①Change 変化しよう ②Challenge 挑戦しよう ③Chance 幸運をつかもう